

ひまけい



# 議会だより

**No. 1**

2010.4.15

発行編集：日之影町議会広報編集委員会



蘇る歴史の胎動

分村から半世紀余り 見立～岩戸が再び結ばれました(天の古道)

平成21年度 **補正予算**(経済対策)

**中学校終了** まで医療費助成(平成22年度より) . . . p 2

**水源の里** 振興対策 . . . . . p 3

**温泉駅周辺** セラピーロード整備 . . . . . p 7

# 平成21年度一般会計補正予算

## 約 1億7,300万円の減額

### 【理 由】

水防災事業等の事業費の減額によるもの

### 追加事業総額

## 約 1億4,500万円

### 【内 訳】

きめ細かな臨時交付金事業等による町道整備事業等の追加

■町道整備事業9路線

約6,300万円

■学校及び農業施設整備改修

約1,700万円

入院、入院外の医療費助成対象を現在の小学校入学前から中学校終了まで延長するものです。

正 乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正

使用料及び手数料徴収条例の一部改正  
T・R列車の宿、鹿川地区交流センターの使用料及び宿泊料を定めるものです。

### 条例の改正

(全7件中主なもの)



継続選任に同意しました。

固定資産評価審査  
委員会委員

【任期】平成22年～24年 3年間

河 野 真理子 氏



# 平成22年度一般会計予算

## 総額43億3,500万円 **¥** (対前年比5.8%減)

### ■主なもの

- ・ハウス団地整備事業（大瀬地区） 約6500万円
- ・子供手当（国の新施策） 約5900万円
- ・移動通信用鉄塔整備費（追川地区） 約4770万円
- ・森林セラピー基盤整備事業（キャンプ村整備、ひのかげ溪谷祭り補助金等） 約3400万円
- ・ケーブルネットワーク運用管理費（光ケーブル維持管理費） 約2000万円
- ・緊急母牛管理支援事業補助金（新規） 約530万円
- ・小学校エアコン整備事業（八戸・日之影小） 約510万円
- ・インフォメーションセンター（道の駅案内所）職員常設事業委託料 約260万円
- ・地域おこし協力隊員報酬（新規国県事業で水源の里対策） 約190万円

### 施政方針に 対する総括質疑 （主なもの）

#### 総務常任委員会

Q 対前年比5.8%の減額予算であるが町民の要望に応えられるか？

A 日之影町役場は総合サービス商社であり町民は税金を納めた株主である。全職員総力をあげて取り組んでいく。

Q 入居待機者が増加している。新たな福祉施設設置の考えはないか？

A 認知症に対応できる施設を整備する必要があるという、介護保険事業計画策定委員会の意見を尊重し前向きに検討する。

Q 教育行政の重点となる施策は？

A 現在の学力のレベルを維持しながら、一つ目は子供達の変容に期待する取り組みをはじめ5つの柱を考えている。

Q 女性消防団員確保への対応は？

A 現在3名の方が活躍されている。町広報等通じて周知徹底をして加入促進に努めていきたい。

#### 経済建設常任委員会

Q 西臼杵広域農道深角～岩戸間の22年度の取組は？

A 農道整備事業は廃止となったが、道整備交付金事業での整備に向けて三町首長、議会、地元と一体となつて県に要望していく。

Q 益々深刻化する鳥獣害対策も、国による抜本的な改正の必要性は？

A 免許取得の学科試験免除、捕獲頭数の撤廃、捕獲

区域の拡大等、県と十分情報交換を図りながら取り組む。

Q 農商工連携一体となつた森林セラピー事業を進める中で、本町の特性を活かしたアイデアは？

A 森林セラピー基地への誘導、滞在の食、体動く、心動く癒しのコラボの町づくりを進める。

Q 水源の里振興の取り組みは？

A 新設の、地域おこし協力隊員と集落支援員、及び地域住民の意向をうまく連携、連動しながら取り組む。

Q 全国くり研究大会に対する取り組み、意気込みは？

A 品質日本一高千穂日之影くりを全国に向けてPRする絶好の機会である。さらに生産技術の向上に繋がる大会にしたい。

# 予算審査特別委員会

委員長 甲斐徳仁

## 委員長報告

委員会では3月9日、10日、12日の日程で審査した。審査過程では財政運営や6つの重点施策と諸施策等について運用目的、費用対効果、公金の公平公正平等の観点に立った質疑が行われた。

新年度予算は、4年目を迎える水防事業や災害復旧事業等を含め、前年度当初予算比5・8%減の43億3500万円で編成されている。

昨年の景気悪化と政権交代による施策の見直しや事業仕分け等で今後の財政状況は更に厳しくなるものと予想され、財政の健全化と

各事業の投資効果や事務事業の見直し等、効率的な行財政運営と職員の意識改革も求められる。一方議会も地方分権、地域主権の分権型社会に移行する中、町民の代表としての意識改革に努め安心な町づくりに取り組むべきである。

以上、平成22年度施政方針、並びに議案第8号「平成22年度日之影町一般会計予算」から議案第17号「平成22年度日之影町後期高齢者医療特別会計」までの予算十議案は本会議において原案のとおり可決すべきものと決定致した。

## 町道廃止と認定

### 廃止路線

・吾味〜星山線

吾味駅付近において一部重複する為廃止

・竹の原〜松の内線  
道路区域変更の為廃止  
・中村〜丹助線  
起点変更の為廃止

### 認定路線

・吾味〜星山線

吾味駅付近が新路線になった為新たに認定

・竹の原〜松の内線

松の内集落内の道路の完成により新たに認定

・中村〜丹助線

中村〜日平線まで延長し新たに認定

・戸川吊り橋線

吊り橋が完成し対岸のセラピーロードと接続する為新たに認定



## 工事請負契約の締結

日之影小学校校舎耐震補強工事

工事金額

7392万円

工事期間

平成22年3月〜9月まで  
(授業への影響を配慮し土日、祭日、夏休み期間中も施工)

## 辺地計画変更を承認

・有利な財源確保対策の為、平成22年度から平成26年度まで、大瀬、小原、追川、仲組、見立、鹿川、大宮、松の木、星山、長谷川地区の整備計画を変更するものです。

## 新しい公の施設の「指定管理者」を選任

・鹿川地区交流センター  
鹿川地区活性化協議会会長 三浦博文氏他21名の皆さんによって運営がなされます。



・TR列車の宿

ひのかげ列車の宿有限責任事業組合  
あさだ屋旅館、若松屋旅館、田口旅館3名の方々により管理運営されます

※有限責任事業組合とは？  
損益や権限分配が構成員  
で自由に決める事ができ、  
出資額の範囲内の有限責任  
で、構成員個別が課税適用  
をつける。

## 常任委員会所管 事務調査報告

### 総務文教常任委員会

#### ①日之影町地域防災計画

平成19年度国県の防災指  
針を踏まえ、平成20年3月  
に地域防災計画を策定し、  
県の防災計画との整合性を  
図っている。

#### ②消防団の概要

条例定数は平成20年4月  
に330名に見直し、実団  
員数は311名（充足率94  
%）になっている。

#### ③消防団の課題

男性団員には出来ない高

齢者の心のケア等が女性団  
員には出来る。加入促進は  
出来ないか。また、部によ  
って団員が10名を割ってい  
る所もあり部の再編を図る  
時期が来ている。支援団員  
数241名で現在初期消火  
活動に繋がっている。



#### ⑤防火水槽の要望箇所調査

見立仲組小跡地・戸川・  
岩井川中尾・糸平を含む20  
カ所の要望があるが、年に  
4〜5基の設置状況である。  
有効な制度事業を確保利用  
し全箇所の要望が満たされ  
る様希望する。

### 経済建設常任委員会

#### ①日之影ケーブルネット ワーク整備事業

産業振興と住民福祉向上  
に大きく寄与する事業であ  
り、維持管理費については  
国の交付金算定による予算  
措置は計れないか。

#### ②耐震事業（耐震施設調査）

公の施設にあつては、も  
う少し小面積の建物も安全  
安心を重視して検証すべき  
である。

#### ③地域振興策（独居世帯の 水道施設）

水道はライフラインの中



で最も重要である。水源の  
重要さと安全な管理道の確  
保が必要であり、各集落に  
おいて地元の水源について  
話し合う環境づくりが必要  
である。

#### ④農林業振興策（花卉園芸）

今回3戸の園芸農家を視  
察したが、農作物の価格低  
迷に苦しんでいる中、ほお  
づき、ダリア、ランキンユ  
ラスは価格が安定している。  
新規参入しやすい環境整備  
が必要であり、それが就農  
者の増加に繋がると考える。



## 行財政改革特別 委員会

委員長 甲斐健司

### 中間報告

本町の委託業務、委託料  
の精査、検証及び議会議員  
の定数に関する件について  
審議を行った。委託業務に  
おいては、長期の随意委託  
契約及び21年度委託料10項  
目の見積書の中で一部業者  
から見積書を取っていない  
委託契約があり、内容につ  
いては理解できるものの必  
要不可欠な書類である。ま  
た、各事務維持管理費の算  
定基準に一部アンバランス  
が見受けられたが、いずれ  
にしても22年度よりは正し  
て行くという事である。議  
員定数に関する協議は引き  
続き協議を行う事に決定。  
今後も住民の負託に応える

為に継続的に本委員会を開催してまいります。



## 高千穂鉄道財産 審議特別委員会

委員長 甲斐喜夫

### 中間報告

鉄道財産、鉄道跡地を有効活用する事により森林セラピー基地としての健康ウォーキング、観光道路等としての再生を図り、人と自

然との共生を図る画一的な事業で、4月オープンを控え温泉駅を中心とした鉄道資料館や足湯施設、車両を利用した宿泊施設は県内外から高い関心があり周辺の施設整備を図る事で今後の観光目玉と言っても過言ではない。更なる誘客活動の努力が必要であり、住民とのコンセンサスを図りながら最大の効果が得られる様望むものである。



## 一般質問

「住宅、宅地整備計画と農林業振興対策について」

杉本道生

問

住宅マスタープラン、公営住宅ストック総合活用計画の見直しの進捗状況と今後の住宅環境整備の見直しを問う？

町長

将来の立替、営繕事業等に対応できるように今回公営住宅等長寿命化策定事業を策定した。平底団地に土地利用一体型水防事業の仮設住宅9戸を計画しているが、当該事業完了後公的賃貸住宅への再活用も協議していく。

問

将来的に高齢者対応の集合住宅または町内の

バランスの取れた整備が必要ではないか？

町長

いろいろな形の方策を考え、集合住宅整備も考慮する時代が来るのではと考える。大型バイパスの捨土場所等も検討しながら5戸程度をインフラの整った場所に分散しての建設がベターと考える。

問

耕作放棄地解消、農地を守るという事は、今後更に大きな課題となる事が予想される。現実的な対策として町内でも辺地点数の高い条件不利地等への農作業受委託の組合個人に対して、町独自の支援策の考えはないか伺う？

町長

受託組合には機械等の助成も行っているが、

この件については今後検討していく。

問

中山間地等直接支払制度の継続は喜ばしい。その中で特に急激に増大している鳥獣害対策は？

町長

鳥獣害対策については県も新年度から各部横断的に取り組むという事である。新しい過疎法が6年間延長されるが、県と意見交換協議等しながらハード、ソフト両面から本町の活性化に繋がる方策を検討して行きたい。鳥獣害対策で生態系行動学的な勉強会を最低年1回ぐらい開催してもいいのではと思っている。



## 「植林未栽地とセラピーロードの整備について」

佐保 満 男

**問** 再造林されない伐採放棄地が増加している。災害の要因ともなるが？

**町長** 森林林業を取り巻く環境は林業就労者の減少、高齢化や木材価格の低迷、採算性の悪化等で再造林されない未植栽地は増加してきており、再造林の推進は喫緊の課題。町としては苗木代の助成、間伐事業の上乗せ助成、獣害防止事業等行うと共に、今後の対策として10年生までは町国県等の事業を活用し、場所によっては天然更新の方が良い山等あるので所有者と協議を重ねながら整備を進めたい。更に森林環境税を納めて頂いて未栽地解消に寄与して頂ければ有難いし、企業の森として電力会社等

にも機会があれば今後話を進めていかなければと考えている。

**問** 椎茸作業路等の生コン舗装は出来ないか？

**町長** 椎茸に係る2m作業路は原木搬帰場への進入路等で使われているが、比較的使用期間が短いので現時点での舗装整備は考えていない。

**問** セラピー基地認定後5年を迎えた。今後のロードの整備計画は？

**町長** 戸川棚田の吊り橋から上戸川までの700mを国の補助事業を活用し、遊歩道の整備や安全柵の設置を行い利用可能なコースとして整備を進める。

温泉駅から槇峰駅までの鉄道敷8・5kmをロードとして活用。TR列車の宿、足湯施設、温泉駅周辺の整備を図りながら誘客や地域経済の活性化にも効果が期待できる。

待てる。

**問** 見立遊歩道の分岐点から150m位の所で、砂防ダムの水が滝の様に流れ落ちている。見立のナイヤガラとして周辺整備計画しては？

**町長** 砂防ダムナイヤガラ是件ですが、担当課としてもストーリーがあつて素晴らしい所だという事で計画の視野に入れている処である。



## 「過疎対策について」

大村 直 登

**問** 昭和33年の16,000人を最多に年々減り続ける町人口は、町の所得水準の低下も招いている。その中で農林業への各種助成事業、商工業へのふるさと企業応援事業が後継者対策に十分結びついたのかという事を踏まえ、町長は後継者対策をどのようにとらえているか？

**町長** 本町独自の支援で新規の方もおり、一朝一夕に行かないが少しずつ効果は出ていると思うし、新年度も町民の皆さんにPRしながら取り組んでいきたいと考える。

**問** 伝統文化の継承等公民館活動にも不安が出ている。少子高齢化をどう考えているか？

**町長** 年間約30名の出生で高齢化率40%超えの本町、新年度から中学卒業ま

での医療費助成を始めた。本町で子育て教育を受けられる様に住宅団地の整備も図らねばと考えている。

**問** 今後独身者の意見を取り入れた出会いの場の創出を後継者対策として計画出来ないか？

**町長** 町のイベントの活用、鹿川地区交流センター、温泉駅、セラピーロード等を活用した出会いの広場の設定を各種団体、町民の皆さんの協力を頂きながら後継者のパートナー対策として図っていかねばと考えている。



- |                                   |               |                                     |                                                        |                                    |                                      |                           |                                                         |                           |                                     |                                           |                     |                                    |                                       |                          |                            |                             |                            |                                                   |
|-----------------------------------|---------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------|
| 1月4日 第60回日之影町成人式<br>新春賀詞交歓会       | 5日 消防始式       | 7日 新年交通安全祈願祭<br>定住自立圏形成協定合同締結式      | 11日 第20回新春少年の主張<br>発表大会                                | 17日 日之影町駅伝大会                       | 20日 経済建設常任委員会<br>行財政改革特別委員会          | 27日 議会運営委員会<br>時局講演会(川南町) | 2月2日 宮崎県後期高齢者医療<br>広域連合議会定例会<br>行財政改革特別委員会<br>総務文教常任委員会 | 4日 新砕砂プラント完成見<br>学会(佐藤工業) | 8日 経済建設常任委員会<br>全国過疎地域自立促進<br>連盟理事会 | 10日 旭化成との意見交換会<br>延岡市、高千穂町、五ヶ<br>瀬町との合同会議 | 12日 市町村総合事務組合議<br>会 | 14日 町民のつどい                         | 15日 郡林活議連役員会                          | 17日 県への要望活動              | 18日 県町村議会議長会役員<br>会        | 19日 経済建設常任委員会<br>行財政改革特別委員会 | 20日 延岡地区日之影町人会             | 22日 高千穂鉄道財産審査特<br>別委員会<br>土地利用一体型水防災<br>事業調査特別委員会 |
| 23日 郡議長会定例議長会<br>県町村議会議長会定期<br>総会 | 24日 総務文教常任委員会 | 25日 北部広域行政事務組合<br>議会運営委員会・全員<br>協議会 | 3月1日 高千穂高等学校卒業式<br>九州横断自動車道熊本<br>延岡間「命のみち」をつ<br>なぐ会発会式 | 2日 郡林活議連研修会<br>平成22年第1回定例会<br>(初日) | 5日 平成22年第1回定例会<br>(総括質疑)・議会運営<br>委員会 | 7日 『天の古道』夜明けの<br>儀参加      | 8日 一般県道向山日之影線<br>整備促進期成同盟会現<br>地視察及び要望                  | 9日 予算審査特別委員会              | 10日 予算審査特別委員会                       | 12日 予算審査特別委員会                             | 14日 「あさひの森」植樹活動     | 16日 日之影中学校卒業式<br>下野く岩戸間トンネル<br>貫通式 | 17日 平成22年第1回定例会<br>(一般質問)・議会運営<br>委員会 | 19日 平成22年第1回定例会<br>(最終日) | 23日 町内小学校卒業式<br>健康づくり推進協議会 | 25日 老人福祉大学卒業式               | 26日 JA高千穂地区農産園<br>芸振興生産者大会 | 29日 西臼杵衛生組合議会                                     |

## 時の話題



長年、近くの県道をボランティア清掃活動される藤本さん御夫婦



同行者と共に

福留尚仁氏(県庁からの派遣員)  
見立地区、仲組地区の方々の、  
「地域を何とかしなければ」と  
いう想いで実現した「天の古道」  
道開き。高齢者ばかりの地域で  
もみんなで協力すれば出来る事  
がある、楽しみが生まれるとい  
う事を実感しました。



春一番をつげる仲組の桜



道開きの儀テープカットの様子

## 編集後記

平成22年度当初予  
算が提案され慎重審  
議を経て議決しまし  
た。

国と地方は長引く  
景気低迷による税収  
等の減少により財源  
不足が拡大しかつ財  
政危機に直面しよう  
としていますが、行  
政改革を町民の方  
と協働して推進し負  
託に答える為さらに  
努力いたします。

K・K



発行責任者  
議長 木本孝良

議会に祭りの案内を  
頂きました

・鹿川地区  
・平清水地区  
・小崎地区  
ありがとうございました。